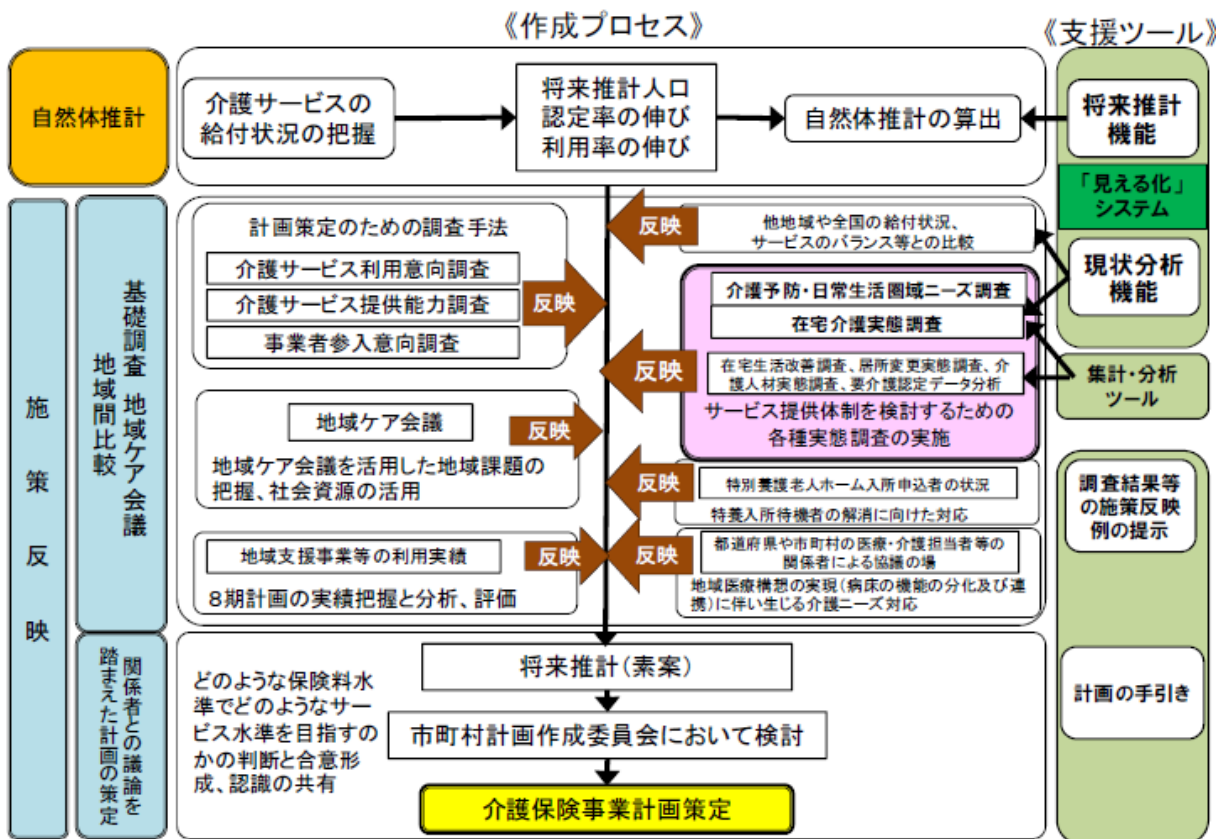


第9期高松市高齢者保健福祉計画策定に係る基礎調査の実施について

〈国が示す計画策定の体系図〉



【出典】厚労省説明会（令和4年8月配信）の配布資料1より

(1) 高齢者の暮らしと介護についてのアンケート（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査を含む）

ア 調査目的

- ・高齢者の抱えるリスクや社会参加状況を把握することで、地域診断に活用し、地域の抱える課題を特定する。
- ・介護予防・日常生活支援総合事業の評価に活用する。
- ・市民の意見・意向を十分に把握し、次期計画策定へ反映する。

イ 調査対象等

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査における調査対象等を基に、以下のとおり3つの調査種別に分けて実施する。また、市内19の日常生活圏域ごとに分析を行う。なお調査票数については、第8期計画策定時の当該調査の規模と同等である。

<第9期計画>

調査種別	調査対象者	調査目的	調査数
高齢者	65歳以上高齢者のうち ・要支援1・2 ・事業対象者 ・元気高齢者	要介護状態になる前の高齢者のリスク等を把握するとともに、一般介護予防を含めた観点から、総合事業全体の評価に活用する	3,000人
要介護認定者	65歳以上高齢者のうち ・要介護1～5の人 ※介護保険施設サービス利用者を含む	介護保険サービスや在宅福祉サービスの利用意向、認知症等高齢者施策に関するニーズを把握する	2,800人
一般市民	40歳以上65歳未満 (要介護認定を持っている人を除く)	介護予防や認知症等の施策に関するニーズを把握する	1,000人
合 計			6,800人

ウ 調査方法

第8期計画と同様、郵送による実施とする。

エ 調査期間（予定）

令和4年12月1日～令和4年12月28日

オ 調査項目及び主な変更点

国の示す介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の調査項目を基に、次期計画策定に反映させるべき市民の意見・意向を把握するため、本市で実施する調査項目の見直しを行った。

(2) 在宅介護実態調査

ア 調査目的

「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討することを目的とする。

イ 調査対象等

調査対象	調査数
在宅で生活をしている要支援・要介護認定を受けている人のうち、更新申請・区分変更申請に伴う認定調査を受ける（受けた）人	1,016人 (調査期間中に調査できた人数)

ウ 調査方法

認定調査員による聞き取り調査

エ 調査期間（実施済み）

令和4年6月1日～令和4年8月10日

オ 調査項目

	調査項目	設問数	備考
A票	認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目	15問	国が示す調査項目（必須項目＋オプション項目）に、本市独自項目を追加
B票	主な介護者若しくは本人に回答・記入してもらう項目	6問	国が示す調査項目（必須項目＋オプション項目）に、本市独自項目を追加
合計		21問	

カ 調査分析の方法

「調査結果」と、認定調査や認定審査会の審査結果などの「要介護認定データ」を、被保険者番号で関連付けた後に、集計・分析を行う。

(※関連付けと、集計・分析を行うためのツールは、厚生労働省から提供されるものを使用する。)

